

令和6年度

朝日村除雪計画

1 目的

道路は、経済活動の活性化や文化の振興・快適な生活環境の向上等、村民の暮らしをより豊かなものにするために、きわめて重要な施設である。

この計画は、冬期間の積雪時における道路交通の確保について、県及び関係機関、住民と連携を図りながら効果的な除雪作業を実施することにより、住民生活の安全・安心と経済活動の確保を図ることを目的とする。

2 基本方針

除雪業務は、道路管理として降雪時や路面凍結時に道路利用者が交通安全を順守し、また防滑装置を装着し路面状況に応じた運転等を行っている場合の交通確保、特に通勤通学時の交通確保を基本に実施する。

3 除雪の気候

(1) 通常除雪対策

気象庁が発表する気象情報を参考とし、道路除雪作業の円滑かつ適切な実施を図るため、原則12月1日から翌年の3月31日まで、主管課長の指揮のもとに適切な道路除排雪を実施する。ただし、気象状況に応じて、この限りでない。

(2) 異常除雪対策（雪害対策）

異常降雪により通常除雪では道路交通確保が困難な状況、または災害が予想され、村長が必要と認めた場合は朝日村地域防災計画により朝日村災害対策本部を設置し除雪対策を含めた災害対策を実施する。

4 除雪実施計画

(1) 除雪計画路線

路線の性格を勘案して路線を次表のとおりとする。

路線名	内 容
最重要路線	県道及び広域幹線とアクセスする幹線村道
緊急確保路線	バス路線、集落と幹線村道を結ぶ主要集落道
一般除雪路線	その他の除雪指定路線 (除雪機械が進入できない狭あい道路・農道・林道級村道は除く)

※除雪出動基準は、原則として新降雪深10cm以上とする。ただし特別な事由により、主管課長が特に必要と認めた場合も出動する。

(2) 除雪体制

各除雪体制の基準は次表のとおりとする。

体制	降雪状況	内容
準備体制	・ 気象情報等により、降雪が予想される場合	・ 除雪の出動準備
平常体制	・ 積雪深が、 <u>10cm 以上</u> ある場合	・ 出動基準に基づき除雪出動
警戒体制	・ 積雪深が、 <u>20cm 以上</u> あり、 天候の回復が見込めない場合	・ 最重要・緊急確保路線の拡幅除雪 ・ 必要箇所の排雪 ・ 情報連絡の強化
	・ 災害が予想される場合	・ 災害対策本部設置準備

(3) 出動基準

作業内容による出動基準は次表のとおりとする。

作業内容	出動基準
新雪除雪	路面の新降雪深が基準を越え、さらに降雪が予想される時。
路面整正	① 路面に残雪等があり、放置すると圧雪等により交通困難な状態となる恐れのあるとき。 ② 降雪による圧雪の解消や、路面の平坦性を確保する必要のあるとき。 ③ 気温の変化や通行車の攪乱作用などで圧雪の性質が変わり、極端な不陸が生じ交通障害の原因となる恐れのあるとき。
拡幅除雪	連続した除雪作業により、路側の雪(雪堤)が大きくせり出し、必要幅員の確保が困難となり、交通障害を引き起こすと判断される時。
運搬排雪	交通可能な幅員確保が困難になると判断される時。
雪捨て場管理	雪捨て場の状況に応じ、押出し・ならし作業等が必要な時。

(4) 歩道除雪

歩道除雪箇所は次表のとおりとする。

除雪者	箇所
朝日村	一般県道新田・松本線（朝日橋北交差点～役場北交差点） 村道針尾幹 2 号線（役場北交差点～村境） 村道西洗馬幹 1 号線（針尾幹 2 号線交差点～東京電力沿いの丁字路） 村道大原63・古見57号線（役場ヘリポート交差点～中央公民館交差点）
住民及び 学校 P T A	上記箇所以外（別添 歩道等除雪路線図のとおり）

※大雪時（緊急）等で必要な場合は、P T A 除雪体制と連携して適宜実施する。

※原則通学路を対象とし、長靴・防寒靴で歩行可能な状態を確保する。

※降雪状況を観察しながら、天候がほぼ安定したときに実施する。

(5) 路面凍結防止

降雪の有無にかかわらず、低温により路面凍結が予測される場合、または圧雪や路面再凍結などが形成され、坂路の走行や屈曲部の走行において運転が困難な状況となった場合に実施し、交通安全の確保を目的とする。散布路線は最重要路線及び緊急確保路線を原則行うもので、散布は車両による機械散布とする。

また、集落道路の坂路等、必要な箇所には凍結防止剤を現地に常備して緊急に備えるものとする。

散布量は予防散布（凍結防止）20 g/m²程度、融解補助 30～40 g/m²程度とする。

散布材	速効性	持続性	特性
塩化ナトリウム	△	○	水によく溶け中性。氷点降下が高い。最も広く使用されている。固結して散布作業に支障がある場合があるので、低温域では固結防止に配慮が必要となる。
塩化カルシウム	○	△	水に溶けるとアルカリ性となり発熱する。吸湿性が強いので固結防止に有効だが、保管には注意が必要。塩化カルシウムの最大の長所は融氷効果の速効性にあり、融氷効果と凍結防止効果は塩化ナトリウムの6割程度。

(6) 雪捨て場の確保

雪捨て場は鎖川（社会福祉協議会前、松ノ木橋右岸）とする。また、必要に応じて雪を処理する機械等を配置する。

(7) 住民協力を得るための広報活動の実施

道路除雪については万全を期しているが、行政のみでの対応には限界があるため、住民及び事業所等にも除雪活動の協力を得るための広報活動を実施する。

- ① 回覧板・広報あさひへの掲載
- ② 関係機関（区長・地区長会、学校等）への協力依頼
- ③ その他、広報に必要な活動手段

（広報事項）

- ・路上駐停車の自粛の要請について
- ・屋根雪等の道路への投雪自粛の要請について
- ・自宅前道路及び歩道の自主的除排雪について
- ・用水路等への投雪自粛の要請について
- ・消火栓・防火水槽周辺の除雪励行について

(8) 未除雪路線の対応について

除雪車両が入れない未除雪路線の除雪は、地区に除雪の協力を求める。